

ひがし

通算第 95 号

2024.2.15 No.9

高知市長浜に 行ってきました

教科書無償の闘いを学ぶため
2月3日、4日に高知市長浜へフイー
ルドワークに行ってきました。



NPO法人じんけんネットながはま
の武田さんと部落解放同盟長浜支部
書記長の村上さんが詳しく説明して
くれました。

「教科書をタダにする」運動
は、長浜だけで起こったものでは
ありませんでした。1953年
京都市内の2つの小学校で、教
科書を買えない人全員にタダ
で配られたのです。これは、生
活保護の範囲を広げて貧しい
家庭を救おうという福祉的な
考え方からとられた措置でし
た。

長浜では「貧しいから教科書
をタダで配れ」と言っているんじ
やない。憲法で保障された義務
教育を無償で受ける権利を要
求するのだ。だからお金がある
ウチのもの子どもにも、ないウ
チの子どもにも平等に教科書
がタダで配られるべきだ。」とい
う考え方で運動が進められた
のです。この運動は被差別部落
の人たちから巻き起こった闘い
でした。その考え方に賛同した
地区外の人たちをも大きく巻
き込んだ闘いになりました。で
すから、「タダにする会」を作る

うと始めた署名運動には、当時
の長浜小・南海中の児童生徒
2000人のうち、1600人も
の署名が、たった1週間で集まっ
たのです。その後、1962年に
「教科書無償法案」が国会で可
決され、翌年から順次教科書が
無償となりました。



ここは、「自ぎょう館」跡です。この
自ぎょう館で学習していく中で日本
国憲法の26条に気づき「教科書
をタダにする会」が結成されました。

詳しい報告は推進委員の学習
会でします。興味のある方は、
ぜひご参加ください。

日時 2月29日(木) 19時
場所 東飯田公民館